

魅力と活力ある世田谷を めざして40年

支部設立40周年記念式典・祝賀会を開催



主催者代表の挨拶をする大場会長

東京商工会議所世田谷支部(会長 大場信秀)は、昭和49年2月1日に設立され、今年で設立40周年を迎えました。これを受け、支部設立40周年記念事業実行委員会(大場信秀委員長)は、1月31日(金)、記念式典・祝賀会を開催しました。当日は、保坂展人世田谷区長をはじめ、三村明夫東京商工会議所会頭、鳥原光憲東京商工会議所副会頭ほか、来賓ならびに支部会員ら総勢311名が参加、支部設立40周年を祝いました。

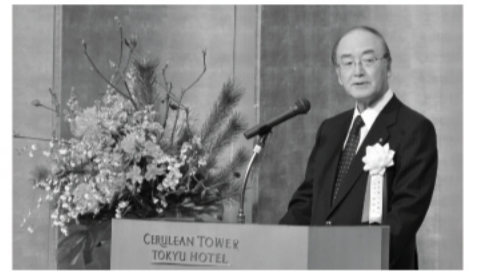


盛大に鏡開きが行われた

第1部記念式典では、冒頭挨拶に立った大場会長が、世田谷支部40年の歴史を振り返り、世田谷区によるマル経融資の利子補給制度、障害者の就労支援事業、世田谷ナンバー導入の実現などへの協力を謝意を表するとともに、「区内の各団体との連携を深めながら、今後とも将来を見据えた事業に取り組んでいきたい」と述べました。三村会頭からは、「支部会員とじっくりと意見交換しながら、東商として地域活性化に向けたプロ

ジェクトを推進していきたい」と挨拶がありました。続く表彰式では、永年会員表彰、支部功労者会頭表彰、同会長表彰、会員増強功労者会頭表彰、同支部会長表彰が行われ、個人表彰70名、企業表彰83社の方々に授与されました。(詳細は裏面掲載)

第2部祝賀会では、40年の歴史を振り返るDVDの上映や、デキシージャズのミニコンサートが開催され、参加者は着席によるフルコースディナーを堪能しながら、40周年を盛大に祝いました。参加者には、支部活動40年の歴史などをまとめた「記念リーフレット」と、世田谷区内の観光名所や26年度中に導入される世田谷ナンバーのイラストを掲載した「支部設立40周年記念切手」が配付されました。



挨拶する三村会頭

東京商工会議所世田谷支部 平成26年度 事業計画<概要>

現状認識	<ul style="list-style-type: none"> ●わが国は、緩やかな回復への兆しが見えてきてはいるものの、中小企業の業績改善は途上であり、消費増税の影響も不透明感が漂っている。 ●地域の発展には、産業振興だけにとどまらず、世田谷区の地域特性を踏まえ、将来を見据えた魅力ある街づくりへの取り組みも不可欠である。
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●区内中小企業に対して、より広範囲、総合的かつ時宜を得た支援を図るため、世田谷区、(公財)世田谷区産業振興公社、および区内産業関係団体等との連携をこれまで以上に強化する。 ●「東京商工会議所中長期プラン」および「世田谷区産業ビジョン」の実現および多様化する会員企業のニーズへの対応に向け、次の5点を柱として事業を着実に実施する。

<p>1. 区内産業の振興 (注)以下※印は重点事業</p> <p>中小企業の多様な経営課題に対してきめ細かく対応し、中小企業の活力強化を図るとともに、地元行政、関係団体等との協働により、地域社会を支える産業の振興を図る。</p> <p>※(1)区等行政および(公財)世田谷区産業振興公社との連携による中小企業経営支援事業の推進 ※(2)マル経融資制度の利用促進、中小・小規模企業に対する相談・指導 ※(3)ビジネスマッチングの推進 ※(4)経営危機管理対策事業の実施 ※(5)区内商店街活性化に向けた支援 ※(6)産業交流促進事業の推進 ※(7)障害者就労支援事業の実施 ※(8)中小企業・若年者マッチング応援事業の実施 ※(9)三軒茶屋就労支援センターとの連携 (10)税制、雇用・労働問題、まちづくり、少子高齢化、国際化等、経済・社会的課題への対応 ※(11)総合的な創業支援事業の積極的推進 (12)区内関係団体(社労士会・税理士会等)との連携による経営支援事業の推進 (13)ハローワーク・東京都労働相談情報センターとの連携 (14)事業者・労働者の健康対策の推進 (15)ワーク・ライフ・バランスの啓発促進</p>	<p>3. 地域活力の創造</p> <p>地域資源・特性等を活かした地域ブランドづくりを確立し、世田谷の新たな魅力を創造するとともに、産業の発展ならびに地域の活性化を図る。</p> <p>※(1)社会貢献事業の推進 ※(2)世田谷の魅力アップ事業の実施 ※(3)まちなか観光事業の推進 ※(4)「世田谷ナンバー」活用・推進事業の実施 (5)区内地域イベントへの参画・支援 (6)教育・文化活動への支援 (7)地域防災・防犯対策の推進</p>
<p>2. 意見要望活動の積極的推進</p> <p>現場に立脚した活動を通じて、中小企業や地域の声をタイムリーに集約し、必要に応じ、他の産業団体等と連携しつつ、とりまとめた意見・要望等を、国政・都政レベルでは本部の所管部署、区政レベルでは地元行政等に提出し、区内産業の発展および地域経済の活力強化の実現を図る。</p> <p>※(1)経済社会の変化に対応し、区内産業振興および地域活性化を目的とした意見要望活動の推進 (2)提出した意見要望に対する行政の対応確認・推進活動 ※(3)区議会議員団への支援要請活動の推進 (4)役員と行政、議員との懇談会の開催 ※(5)「せたがやエコノミクス」による、中小企業の経営情報の提供 ※(6)景況調査事業の実施 ※(7)東京外かく環状道路建設、中央自動車高井戸入り口整備の促進 (8)産業交流促進会議の定期開催 (9)産業団体との連携強化、区内経済3団体による懇話会の開催</p>	<p>4. 環境問題への取り組み</p> <p>中小企業の環境問題に対する理解や意識を高めるとともに、環境経営への取り組み、地域社会において環境に配慮した企業行動の促進や環境への保全活動の推進を図る。</p> <p>※(1)一般廃棄物夜間収集事業の拡大・強化 ※(2)地域企業における省エネルギー行動の推進および再生可能エネルギー利用の促進 ※(3)世田谷地域環境グループネット事業の推進 (4)環境適応型・保全型企業の育成および環境に配慮した企業への支援</p>
<p>5. 組織基盤の強化</p> <p>地域経済団体としてより強い信頼を得るべく、会員増強を強力に推進するとともに、役員間、会員間の積極的な親睦・交流、また、次代を担う若手経営者の育成と人的ネットワークを構築し、組織運営を強化する。</p> <p>※(1)会員増強ならびに退会防止の推進 ※(2)役員・評議員体制の充実・強化 ※(3)会員間ビジネス交流事業の拡充 ※(4)支部だより等支部事業の広報活動ならびにFAX等を活用した情報提供の拡充・強化 ※(5)ホームページによる情報発信 ※(6)海外視察の実施 ※(7)若手経営者交流事業の実施 (8)役員・評議員懇親および会員親睦ゴルフ大会、会員交流ポウリング大会の開催 (9)各種業界との連携強化を通じた分科会活動の積極的な推進 (10)マル経融資利子補給請求に伴う事務代行の実施</p>	

世田谷支部26年度事業計画を策定

東京商工会議所世田谷支部(会長 大場信秀)は、2月20日に開催した第270回役員会・第89回評議員会で、平成26年度世田谷支部事業計画を策定しました。区内中小企業に対してより広範囲、総合的かつ時宜を得た支援を図るため、世田谷区、(公財)世田谷区産業振興公社および区内産業関係団体等との連携をこれまで以上に強化して事業に取り組みます。「東京商工会議所中長期ビジョン」および「世田谷区産業ビジョン」の実現を目指し、多様化する会員企業のニーズへの対応に向け、5つの柱で事業を実施します。

主な重点事業は左記の表の通りです。

新任役員・評議員紹介

氏名 支部役職・就任日・会社名・会社役職

片平 三郎 (役員)	分科会 工業分科会 副分科会長 平成26年2月20日 山元オブラート株式会社 代表取締役社長
花田 秀人 (役員)	分科会 金融分科会 副分科会長 平成26年1月31日 株式会社みずほ銀行 支店長 世田谷支店 支店長
松本 靖彦 (役員)	分科会 地域振興分科会 副分科会長 平成26年2月3日 東神開発株式会社 取締役社長
伊藤 昭彦 (評議員)	評議員 平成25年11月4日 さわやか信用金庫 支店長 世田谷支店 支店長
浅見 博之 (役員)	副分科会長 交通運輸分科会 平成25年11月28日 浅見運輸倉庫株式会社 代表取締役社長